

2017年5月31日
株式会社テラスカイ

日本経済新聞社、日経 I D の API 新基盤を サーバーレスで構築

-AWS Lambda で短期開発、運用コスト削減を実現-

クラウド・インテグレーションとシステム連携に特化したサービスやソフトウェア開発を行なう株式会社テラスカイ（本社：東京都中央区 代表取締役社長：佐藤 秀哉、以下：テラスカイ）は、株式会社日本経済新聞社（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：岡田 直敏、以下：日本経済新聞社）が運営する日経 I D の新しい API 基盤を AWS Lambda で構築しました。日本経済新聞社では、法人向けの新サービス「日経電子版 Pro」の販売開始に合わせ、2017年5月より本基盤の運用を開始しました。

■背景

日本経済新聞社ではこれまで、日経 I D の API 群を複数のシステムごとに個別に開発してきました。このため、サービスが日経 I D を利用するには、仕様が異なる API と個別に接続することになり、サービス側の開発に負担がかかっていました。さらに API の開発についても、システムをまたがる要件で API を開発する基盤がなく、かつ個別開発のために開発・運用効率が全体として高められず、これらの課題を解決する方策を検討していました。

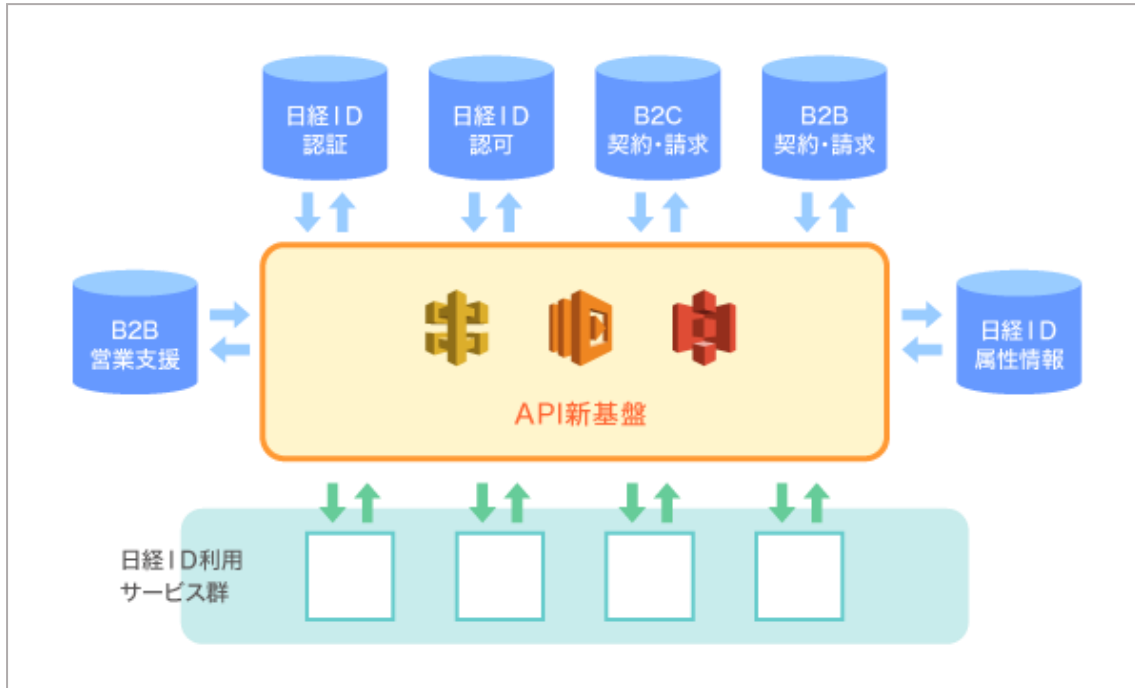
■API によるマイクロサービス化構想

「日経電子版 Pro」などの法人向けサービスの営業支援・販売管理システム構築を契機に、先の課題を解決する手段として、日本経済新聞社は日経 I D のシステム群とサービスシステムをつなぐ新たな API 基盤の構築をテラスカイに委託しました。この API 基盤では、日経 I D のシステム群それぞれに対し再利用可能な API を開発することで、今あるシステム群のマイクロサービス化を実現しました。これにより、今後新たなサービスとの連携開発を行う際には、API を再利用することで、短期間での連携開発を実現します。

■サーバーレスアーキテクチャ「AWS Lambda」の採用

この API 基盤は AWS のサーバーレスアーキテクチャである AWS Lambda で構築しました。AWS Lambda で構築することにより、サーバーの運用管理やキャパシティ管理が不要なため、運用コストを削減しつつ安定した運用を実現できます。当初、日本経済新聞社は EAI での連携も検討しましたが、様々なマイクロサービスを迅速に立ち上げていく目的から AWS Lambda を選択し、テラスカイの支援によっておよそ半年で API 基盤を構築、完成させました。

API 基盤のシステム概念図



<株式会社テラスカイについて>

テラスカイは、クラウド創世記からクラウドに取り組んできたリーディングカンパニーです。2006年の設立以来、クラウド時代の到来を一早く捉え、セールスフォース・ドットコムのコサルティングパートナーとして、導入・普及に取り組んできました。導入実績は金融、保険業界をはじめ医療、サービスなど業界を問わず 2,500 件を超え、日本のコンサルティングパートナーではトップクラスの導入実績数を誇っています。また、多くの実績から得られた知見を基に、開発効率を飛躍的に改善するクラウドサービスの開発・提供を行っています。

所在地：東京都中央区日本橋 1-3-13 東京建物日本橋ビル 7 階

設 立：2006 年 3 月

資本金：4 億 5,403.5 万円

代表者：代表取締役社長 佐藤 秀哉

URL：<http://www.terrasky.co.jp/>

東証マザーズ 証券コード：3915

※ 本文中に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

--- 本件に関するお問い合わせ先 ---

株式会社テラスカイ 経営企画本部 マーケティング・コミュニケーション部

担当：田中 / 松本 TEL：03-5255-3410 / mail：pr@terrasky.co.jp